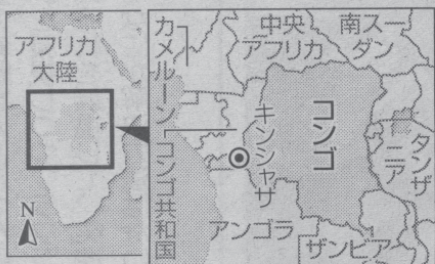


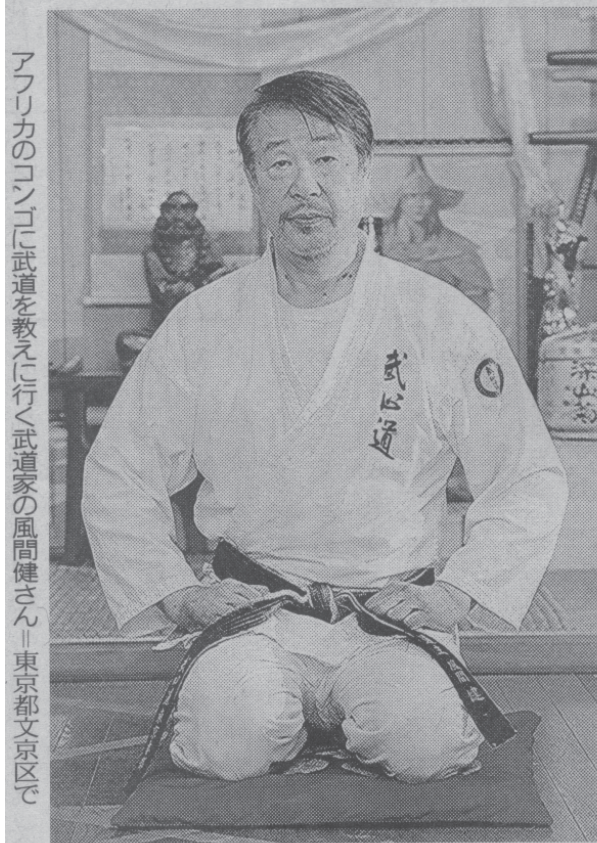
武士道伝えに「コンゴ」

モンゴルやアフリカとの国際交流に取り組んでいる愛知県生まれの武道家風間健さん(六六)が三月、武道指導のため、アフリカ・コンゴ(旧ザイール)の首都キンシャサに渡る。活躍の場は、同国が「ジャパンタウン構想」の一環として建設予定の文化交流会館。現地入りを目前に控え、「国を変革する精神・武士道を十年かけて教えたい」(尾崎行雄)

武道家・風間健さん



同国は、国土が日本の六・五倍、人口約六千八百万人で、銅、コバルト、ダイヤモンド、石油など、世界有数の鉱産資源国。今回の構想には、東京都に匹敵する広さの土地が提供される予定だ。建設される文化交流会館は「インターナショナルスクールの側面もある。長男は俳優筒井道隆氏。



アフリカのコンゴに武道を教えに行く武道家の風間健さん(東京都文京区)

同国は、国土が日本の六・五倍、人口約六千八百万人で、銅、コバルト、ダイヤモンド、石油など、世界有数の鉱産資源国。今回の構想には、東京都に匹敵する広さの土地が提供される予定だ。建設される文化交流会館は「インターナショナルスクールの側面もある。長男は俳優筒井道隆氏。

「武道を通じた文化交流で国を支える人材を育成したい」と意気込んでいる。コンゴで目指すのは「武道を通じた文化交流」を続けることだ。東京都文京区に「心の修練」を目指す武心隊、警察の人材育成にあたって、武道を積極的に取り入れる考えだ。「アフリカの人々は純真。武士道の精神で国を支える人材を育成したい」と意気込んでいる。

3月、現地入り 国を支える人材育成

昨年十月十九日、一般社団法人としてのJAECAの発足式には関係者約八十人が参加した。顧問のスタンフォード大学フーバー研究所西鋭夫教授は「日本はアフリカについては完璧に鎖国状態。巨大な大陸の友達となつて日本がアフリカにできることを実行していきましょう」とあいさつ。同国の日本大使館のピンキティマ参事官は「風間さんと協会のプロジェクトを高く評価している。風間さんのは利益を考えないスポーツ的チャレンジ。その人脈を通じて日本の利益を確保しつつ、国の発展、成長につながることを信じている」と期待感を示した。風間さんは「いずれは日本との資源外交の橋渡しをしたい」との将来像も描く。出発予定は三月十一日。東日本大震災を忘れないように、との思いからだ。